元気で働け国保が守る

国保思想普及標語優秀賞（県知事賞）

岩室中　鈴木幸枝

第4回臨時議会（9,094千円 一般会計）の補正を可決

第4回臨時議会は10月31日招集され会期1日で提案議案満場一致で可決されました。議案の内容は次のとおりであります。

1.一般会計昭和41年度第4回岩室村補正予算決定について

昭和41年度岩室村一般会計補正予算（第4回）

オ　入

科目	既定額	補正額	計	概要説明
国庫支出金	19,659	5,911	25,570	災害復旧事業費国庫補助金
寄附金	1,289	983	2,272	災害復旧事業受益者寄附金
村債	29,900	2,200	32,100	災害復旧事業債
オ入合計	179,445	9,094	188,539	

オ　出

科目	既定額	補正額	計	概要説明
災害復旧費	2	9,094	9,096	災害復旧事業費
オ出合計	179,445	9,094	188,539	

この災害復旧事業は去る，7月17日の豪雨によって生じた災害として認められた復旧事業であります。尚災害箇所は一般にいわれている北野下3ケ所，田子島下1ケ所，計4ケ所となっています。又，事業費は極めて多額でありますが，事業の性質上，一部の受益者負担以外は，国費によるものです。

農業経営の動向

大規模農業漸次増加

今年も残すところあと一ケ月。春以来丹精こめて作った米の出荷も完了し，冬囲や越冬の準備に入った。今年の稲作のでき具合は果してどうであったのだろうか。又農具合はどうであったろうか。米作りの総決算を出荷の規模別に分けて昨年と比較しながら，変りゆく村の農業の姿をとらえてみた。

米を売渡す農家は年々減少して今年は昨年より一〇戸少ない八九七戸となった。その反面大農家が農地を取得し，あるいは委託耕作などにより，着々と経営規模を拡大している。

今年の最高売渡者は，昨年より一八俵多い四〇一俵で，逐に四百台に到達した。三〇〇俵以上を売渡した農家は，昨年より二戸多く，二二戸となった。これを地域別にみると和納地区一四戸。岩室地区八戸である。

また一俵から九九俵までを売渡した比較的小規模の農家は，昨年より三戸減って四五二戸となった。

こうして見ると全体の農家戸数と小規模農家が減少して大規模農家が漸次増加していることを示している。

今年の米の価格一俵七千円とすると，一俵から九九俵までの七〇万円未満の者が四五二戸で全体の五〇%を占めている。一〇〇俵から一九九俵の七〇万円から一九九俵の七〇万円の中農は二六三戸で三〇%である。二〇〇俵から二四九俵で，一四〇万円から一七〇万の大農は一〇九戸の一二%，二五〇俵以上の二〇〇万円農家は七三戸で八%となっている。

各人の売渡した数が，部落内や村内にどのように位置しているかを再確認しながら，今年の総決算と来年の指針にして下さい。

昭和年産米売渡数別農家戸数

（特殊農家を含む）

部落	1俵～99俵	100～199俵	200～249俵	250～299俵	300俵以上	計
池瀬	20	4				24
室	77	5	1			83
曽	39	3				42
引	35	2				37
島	9	4	1			14
本	14	4	3	6	4	31
田	18	17	5	1		41
瀬	5	6	2			13
内	3	5	4			12
野	3	10	2			15
井	1	12	6	1		20
中	34	35	9			78
上	21	17	8	2		48
鳥	5	8	2			15
島	1	3	3	1		8
根	2	7	7			16
越	8	9	5			22
谷	5	14	5	1	1	26
島	5	16	2			23
畑	6	7	3	5		21
長	1	4	8	17	3	33
曽	3	1	5	6	2	21
船	4	8	7	3	2	24
田			2	3	5	10
岡	5	13	5	3		26
橋	10		4			14
区	14	4	1			19
区	15	6	3			24
区	9	5	1			15
区	18	12	2		1	33
区	19	10	2	2		33
区	27	8				35
区	16	4	1			21
計	452	263	109	51	22	897
計	455	270	103	59	20	907
計	474	286	100	49	15	924
計	508	282	103	35	9	938

死亡の部

氏名	年令	死亡月日	世帯主	部落
大越末吉	57	10・19	本人	高橋
土田佐吉	65	10・23	本人	高橋
星野タヨ	65	10・24	一	和納三区
後藤クキ	87	10・30	守	橋本
西村カタ	81	10・31	良平	和納三区
西幸司	88	11・22	良平	和納三区
堀越作	00	10・30	光栄	白鳥
小林庄	65	10・31	本人	和納四区
苫杉カズ	63	10・31	升人	間瀬六区

出生の部

氏名	出生月日	保護者	部落
竹内亜貴美	10・21	章	和納八区
伊藤誠	11・2	公	和納四区
永塚武夫	11・1	一男	富岡
佐藤裕子	11・13	長作	和納一区
水沢清	11・8	勇次郎	南谷内
荒川秀子	11・6	勝栄	高橋
鈴木美浩	11・8	龍次	間瀬一区

おめでた　11月22日まで

助役日誌抄

藍沢祐三

十一月十三日、日曜（晴タ雨）

昨日まで暖かな日が続き小春日和が、何時まで続くかと思っていたが今朝は六時に起きたら、真白な霜、気温はぐんぐん下った。矢張り冬だ。犬小屋に行き、クサリを離す。物凄い勢いで飛び出していった。今年は一度も猟に出ないので可愛想だ。私の日課は毎日犬からはじまって犬で終る。鶏五十羽に餌を与える事も任務？である。

これは私の趣味でもある。従って一日もかかさない。洗面―朝食―犬と猫二匹もやはりいつとはなしに、私の受持ちとなったようだ。今日は日曜だが、母子福祉西蒲原郡連合会総会の会場が岩室村で和納の福成寺に決定されているので九時役場に出勤、村長の後に続いて会場へ、会員は続々集まりつつあったが、地元県会議員諸氏も到着されていた。開会から終りのリクレエションまでは他の大会と変りはないが、ただ一家の主人を失い、女手一つで家庭を支えてきた人達の体験発表によって、母子福祉法のあり方について勉強させられた。最後に岩室の湯元館のオバァさんが得意の「あさくとも清き流れ」と唄った美声には昔のままの元気さに、心から拍手を送った。五時半帰宅新聞を読む。夕食だ。犬も猫も、私の与えるものを、ワンワンニャンニャンと待っている。ローカルニュースを見て入浴。

明日は月曜日仕事が山ほど待っているだろう。早々寝につく。

十一月十四日、月曜（雨）

五時半起床、前日と変って大雨、七時半土砂降の中をバイクで出勤、今朝は自動車が欲しかった。午前九時より、例月監査で立合い、十二時無事終了、昨日潟東の猟友より鴨三羽贈られた、役場に勤めては猟もできないだろうとの思いやりの手紙も添えてある。自分だけ食べては猟友の心にすまないと思い、役場職員全員にこの鴨の味を分ち合いたいと思い、昼食に全員で一釜たいらげた、皆さんよろこんでくれてうれしかった。いつも小言ばかり言う助役のほんの罪ほろぼしであれば昔の腕で、山鳥と思うが、ほとんど日曜は何にかの会があって休む日がないので、今は狩猟はだめだ。今日は強風波浪注意報、鮭の立網も引き上げた人で、毎年不漁で赤字会計であったが、不思議に今年は豊漁、前年一匹何万円もの鮭もどうやら配当も得られそう間瀬の浜もにぎわっている。早々汎になってくれと祈りたい。五時十分退庁。

十一月十五日、火曜（雨）

朝のニュースでは北海道は大雪とのこと。みぞれの降る中を七時四十分出勤、ストーブの準備も考えなければなるまい。午前十時より共済組合の委員会あり昨年度は知事賞、県連合会々長賞を戴いた事をまで報告、組合員各位の理解と委員の御尽力とに感謝しなければなるまい。さらに来年度の目標五億九千万円の目標を達成すべく全員一致の賛同を得た。この仕事も大変と思う。午後三時半、総務住、民課長と保育所運営に対して討議を行なう。村の財源難から人件費の節約をしなければならず……。さらに研究の必要あり、和納保育所の新設に伴う、保母の増員は当然であり村の職員の増加には頭が痛む。五時二十分退庁。

昭和四十一年度 乳児 三才児 コンテスト表彰

村の国民健康保険は去る十一月三日、文化の日、午前九時より役場会議室に於いて昭和四十一年度の赤ちゃん及び三才児の健康優良児の表彰を行なった。

乳児、三才児ともに年々発育の向上が見られるが、村の特長としては、一般に平均化していて、特別発育上の子供や発育下の子供は少ない。

乳児に於いては、食べ物の関係や、不潔による皮膚病が多く見られる。又今年の受診率は六十パーセント位で良い方とは云えない。もっと全員が参加を望む。

三才児に於いては、二才し四才までは一生のうちで心身共に一番大切な時期である。村ではまだまだ年寄子の甘えん坊が多い。もっと子供同志でのびのびと遊ぶ元気な子供に育てて欲しい。又二才頃から虫歯になる子供が非常に多く見受けられる。この頃からは、うがいや歯みがきの習慣をつけるように、しむけてやって下さい。又、おやつの与え方にも問題があり、時間を決めて、栄養的にも十分気を配って与える様にして下さい。

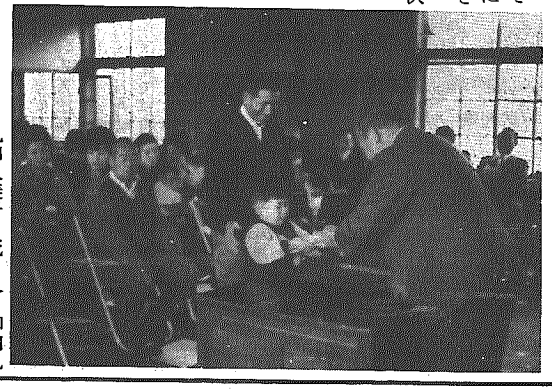
入賞者は次のとおり。

赤ちゃんの部

春　男　本井秀樹　元市　間瀬六
鈴木祐二　豊　石瀬
三富潤一　新一　樋曽
女　宝輪和子　誠　間瀬五
神保悦子　長三　津雲田
後藤恵子　省三　岩室
秋　男　本田勉（正勝　津雲田）（郡二位入賞）
岩富仁弘　斉　田子島
高村俊秀　竹一　橋本
女　宮島優子　修一　和納三（郡三位入賞）
本多美知子　正己　津雲田
斎藤久美子　健一　潟上

三才児の部

春　男　武田茂夫　貞夫　津雲田
竹内清久　福五郎　和納七
小島康司　康一　石瀬
女　竹内須賀子　正勝　西船越
広野加代子　恵一　和納一
秋　男　丸山久美子　茂人　和納九
本田康博　孫市　津雲田
渡辺幸弘　繁　樋曽
高島清志　良夫　和納三
女　池田まゆみ　博　西長島
伊藤久枝　寅雄　和納六
田中弘美　久雄　間瀬七



中学校体育館工事について

統合中学の体育館建築工事は八月着工、明年三月十日を工期として進行中でありましたが、最近やや渋滞気味となって居ります状況から、いろいろこの点について質問もうけ、御心配をおかけいたしているところであります。よってこの紙面を通して実情を申上げ御諒承を得たいと思います。

皆様方の御心配になられますように、本工事の進捗度合は、正に予定より相当おくれて居ります。そのおくれた最大の理由は、搬入された鉄骨材の一部に、不適格なものがあったため、これを設計通りのものに取りかえていただくことになった関係からであります。そこで代りの材料については早速御手配を願い近く搬入の運びとなっていますが、何分にも相当のおくれを来たしておりますので、何んとか今までの空白を挽回願うべく急速な工事を取り進めていただくよう鋭意努力中であります。

しかし何分にも向寒の時節となりますので、今までの遅れを一拠に挽回することも困難と思いますが、請負業者とも一層連絡協議いたしまして最善をつくす所存であります。皆様に種々御心配をおかけいたして居りますことを深くお詫びいたします。

国民健康保険税7期
固定資産税4期

納期　12月16日～12月25日